



精光園だより

365日24時間看護師配置の安全安心な施設 平成30年3月発行



第12回 五色精光園祭の様子



行事紹介

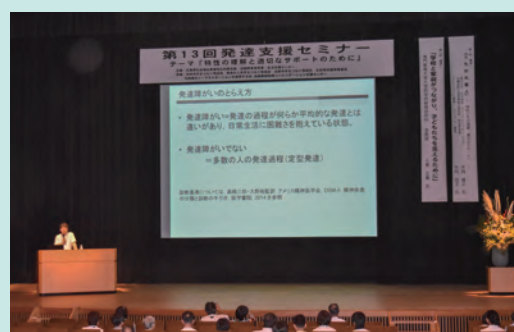
第12回五色精光園祭

平成29年10月28日(土)、「ありがとうの笑顔 地域とスクラム みんなの未来へ」のテーマで第12回五色精光園祭が盛大に開催されました。生憎の雨天の為、五色精光園成人寮内の地域交流ホールを中心とした屋内での開催となりましたが、オープニングセレモニーの五色和太鼓「響」の熱気溢れる演奏で幕を開け、キッズダンスや舞踊、吹奏楽部による演奏などさまざまな出し物が披露されました。中でも一般社団法人兵庫県音楽療法士会の皆様によるコンサートでは会場が一体となり大いに盛り上がりました。また、淡路露天組合をはじめさまざまな事業所が出店し、たこ焼きやラスクなどの販売が行われ、来場された方を楽しませてくれました。出演者、来賓含めて750名あまりの大勢の参加を得て大成功のうちに終わることができました。



第13回発達支援セミナー

平成29年8月18日、第13回発達支援セミナーを開催しました。「特性の理解と適切なサポートのために」をテーマに、発達障害を取り上げました。第一部は、妻子5人が発達障害であるコピーライターの平岡禎之氏が、家庭生活での体験を踏まえて、家族の「取扱説明書」をまとめ、各々の特性の理解とサポートに役立てていること、妻の成子氏が、子育てを行う中で、自身の発達障害への気づきから疑問が解消された体験などを話されました。第二部は、鳴門教育大学准教授の小倉正義氏が、発達障害の子どもの家族(親、兄弟)を、学校・支援機関が連携、支援するポイントを話されました。家族の思いを、各々の目線から引き出し受け止める、親の精神的な安定が子どもの安定につながる、兄弟に発達障害がある家族が、自分自身について考え、自分らしく生活できるように支援するとの話が印象に残りました。二つの講演から、発達障害の当事者への理解と家族を含めた支援について、多くの示唆を得た貴重な学びとなりました。



ふれあい移動動物園

11月15日、成人寮にてふれあい移動動物園を開催しました。香川県のしろとり動物園よりヤギやカメ、ヒヨコ、ウサギ、ブタ、ハリスホークなどたくさんの小動物がやって来ました。興味津々な様子で動物に近寄って行く利用者さんが多く、怖がって近づけなかった方も徐々に慣れ、触れ合えるようになっていました。動物の愛くるしい姿を見て自然と笑みがこぼれ、優しく抱いたり撫でたりとみなさんが動物との触れ合いを楽しんでおり、充実した時間が過ごせたようです。また、地域貢献活動として五色地区の保育園を招待させていただき、100名以上の園児のみなさんが来園されました。利用者さんと園児のみなさんも動物を通してコミュニケーションを図ることができ、あちこちで笑顔が見られ大盛況のうちに終えることができました。



ばんたん・ゆうあい文化祭

11月30日、姫路市文化センターにて文化祭が行われ、昨年に引き続き2度目の書道パフォーマンスを披露しました。今年度は淡路島のゆるキャラ「あわじたま子さん」とウルフルズの「ええねん」という曲を題材に日々練習を重ねてきました。幕が上がる直前は緊張した面持ちでしたが、合い言葉を大きな声で掛け合うと緊張も緩み、舞台の上で精一杯のパフォーマンスをすることができました。書き終えた後は、「みんなそのまんまでええねん!」と観客席に届くような声を合わせて叫び、大きな拍手をいただくと利用者のみなさんそれぞれに笑顔で応えておられました。

他施設の寸劇やフラダンス、合唱等の観覧中は大笑いをしたり掛け声を掛けたり、大きな拍手を送ったりと有意義な時間が過ごせました。



日中活動等紹介

児童寮

サマーフェスティバル

児童寮では、7月末に例年通りサマーフェスティバルを開催しました。この日のために、児童寮の玄関前やグラウンドに利用者様と職員が力を合わせて会場を設営しました。

今年はボランティアの方々も参加して下さり、ギターの弾き語りやコーラスを披露して頂きました。食事はバーベキューで、職員、利用者様共々楽しい一時を過ごしました。

児童寮のグラウンドに移り、露店にて販売したかき氷やアイスクリームを片手に、利用者様は夏祭りの様な雰囲気を楽しみました。会場を移してのボランティアの方々によるライブパフォーマンスや、利用者様がこの日の為に練習して来たダンスを披露した際には、会場は大いに盛り上がりました。最後に打ち上げ花火で締めくくり、盛況の内に終える事が出来ました。



ハロウィンパーティー

10月末に、児童寮内でハロウィンパーティーを開催しました。利用者様は、それぞれお気に入りのハロウィンの装束に着替え、ポーズを決めて写真撮影を行いました。職員が用意した手料理にも、とても満足した様子で、いつもと違う雰囲気に、大変喜ばれていました。



クリスマス会

今年もクリスマス会を開催しました。利用者様や職員がステージ上で歌や踊りを披露しました。ボランティアのフルールさんもご参加くださり、ステージでの演奏に会場は大いに盛り上がりました。

プレゼント交換も行い、利用者様は大変喜ばれていました。



流しそうめん

竹の木を加工して、利用者様が自身の力で作ったそうめん流しの台を使い、児童寮玄関前にて流しそうめんを楽しみました。利用者様は、次々に流れてくる流しそうめんを器用に箸で掴み、美味しく食べておられました。真夏の暑さの中、涼しげに流れてくる流しそうめんを、職員と一緒に楽しみました。



成人寮

利用者一泊旅行

平成29年11月20日、浜坂温泉保養荘に利用者様9名が1泊旅行に出かけました。マイクロバスで片道4時間の長旅でしたが景色を見たり、休憩で美味しいものを食べたりして楽しくあつという間でした。宿泊先では温泉につかり、美味しいお肉を食べ、カラオケで歌を歌いゆったり楽しいひとときを過ごしました。参加された皆さんは「楽しかった」「また来たい」と笑顔で話され、旅行を満喫された様子でした。



お楽しみ会

1月17日(水)、成人寮にて、保護者会共催行事「お楽しみ会」企画として、回転寿司で新年会を行いました。プロの職人さんが目の前で握ってくれるたくさんの寿司に舌鼓!!、利用者、保護者のみなさま、大満足のご様子でした。その後は、カラオケに新年の抱負発表…、あつという間の2時間でした。新年度も、当園は、保護者のみなさまと共に、楽しい企画、親睦を深められる企画を行っていきます。



かがやき事業所

社会体験訓練

12月23日(土)、多機能型事業所自立訓練の利用者で、公共交通機関(淡路交通路線バス)を使った訓練を行いました。五色図書館を目指して実際にバスに乗り、整理券の仕組みや時刻表などを確認しました。乗車中は真剣な表情で利用者同士降車の手順を確認して、目的地に到着するとそれぞれ自分で運賃を支払うことができました。利用者からは「自分たちでバスに乗ることができてよかった」「またしたい」といった感想があり、満面の笑みが見られました。



日帰り旅行

グループホームでは、毎月行われる利用者会で希望が多かった「神戸のどうぶつ王国」に行ってきました。バードパフォーマンスを見たり、動物とふれあいながら楽しい時間を過ごしました。貸切バス車内でも利用者たちの楽しそうな会話が弾み車窓から見える景色にも感動していました。帰った後には、「楽しかった」「また行きたい」と笑顔で感想を話していました。グループホームの利用者さんにとって楽しい1日となりました。



あゆみの部屋事業所

生活介護

生活介護では、活動の一環として自彊術教室を月1回開催し、健康作りを推進しています。講師を招いて、本格的な健康体操を支援員も一緒に行って、心も体もほぐれます。これからも健康増進の活動を進めていきます。



就労継続支援B型

就労継続B型では、パン工房と畑の作業があります。パン工房では、天然酵母の焼きたてパンを即日販売するスタイルで、島内各地を回っています。畑では、季節の野菜を中心に、栽培、収穫をし、昨年は特に玉葱が皆様に大変喜ばれました。



コスモス事業所

生活介護

コスモス事業所では12月に洲本市老人クラブ連合会との合同クリスマス会を行いました。地域との交流と相互の理解を深める機会として、毎年開催しています。生活介護ではクリスマス会に向け、飾り付けの作成や踊りの練習に取り組みました。今年も踊りや、歌、ゲームをして楽しい時間を過ごしました。



就労継続支援B型

就労継続支援B型では今年も様々な場所でのバザー販売に参加しました。新たな取り組みとしては、大阪ガス主催の御堂筋ふれあいバザーへの参加や、淡路島日本遺産フェスティバルとコラボレーションしたスイーツBOXを製作し販売しました。



ちょっとひとこと

健康豆知識 ～医務室より～

「医療機関の受診について」のよもやま話

医療機関への受診について書かれたものです。よければ、参考にしてみてください。「医療機関を受診し診察を受ける目的は、お薬をもらうためだと勘違いしている方が少なくないです。患者さんが医師と面会するのは、医療相談を行うことです。患者さんの現在抱えている身体の不調を医師に相談し、医師は解決法を考え結論を出すという行為が、診療の本当の意味です。結果、お薬が処方される、医療相談のみで診察が終了するということがあります。

それから、診察を受ける際には些細なことでも医師に相談してください。相談する時に気を付けてもらいたいことは、短い診察時間内に問題解決を行えるように、さまざま医療情報をまとめておくことです。

また、お薬が残っていても、困ったことが起こった場合には早めに医療機関を受診することです。受診を躊躇することで、必要な治療を遅らせることにつながる場合もあります。

普段から、かかりつけ医とのコミュニケーションを大切にしましょう。

露天風呂「観音の湯」で 至福のひとときを



浜坂温泉保養荘



〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
TEL(0796)82-3645

和太鼓の取り組みについて

月3回、和太鼓の講師が来られて和太鼓に取り組んでいます。和太鼓は他の利用者の交流や運動、和太鼓をやったことのない利用者や職員に和太鼓の楽しさを知ってもらうことが目的です。講師からは、和太鼓を叩くときの姿勢や、バチの持ち方、太鼓の叩き方を分かりやすく説明をしてくれています。和太鼓を叩くときは、笑顔で叩くことが大事で、ミスをしてもし一生懸命叩いていれば第三者からは、一生懸命叩いていると思われるのでとても大事なことだと助言を受けています。年に数回、島内での和太鼓に出演依頼があり、本番の日の2～3ヶ月前に職員と利用者が練習を重ねて本番に挑んでいます。今年は、1月24日淡路精神保健福祉大会に参加しました。本番前は職員、利用者共に緊張していましたが、本番では、ミスも少なく上手く叩けていました。利用者からは、「とても楽しかった」、「またやりたい」と達成感と満足感のある意見がとても多く地域での貢献が出来ていたと思います。今後も、地域貢献の為に、和太鼓の練習を重ねていき、地域の人達が笑顔になれるように職員、利用者一同頑張っていきたいと思っています。



編集後記

この度は、当広報誌を手にとり、最後までご覧いただきまして、誠にありがとうございました。

私事ではありますが、淡路島に住み着くようになってから、地元でいた頃よりも長い年月が経ちました。そんな中、淡路弁の中に私が魔法の言葉として思う言葉があります。「べっちゃ(ちょ)ない」です。「別にどうもない。問題ない」という意味ですが、淡路で働き始めて、上司や先輩、同僚からこの言葉をもらったとき、何度心が救われたことか。普通に言うのでは、ここまで心に響かないと思います。心をマイナスからプラスに持ち上げてくれる、不思議な魔法の言葉です。 N

パン工房あゆみ

天然酵母、国産小麦を使用したパンを販売しています。
自然のおいしさをおとどけます。
お気軽にお問い合わせ下さい。



ご注文は下記にてお電話・FAXで承ります

五色精光園あゆみの部屋事業所

〒656-1317 洲本市五色町鮎原小山田510-7
TEL 0799-32-0400 FAX 0799-32-0410

焼き菓子

贈答品も承っております。
パンフレットも用意しておりますので、
お気軽にお問い合わせ下さい。

手作りで優しい味の
クッキー10種類、
カップケーキ3種類。



五色精光園 コスモス事業所

〒656-0042 洲本市池内1248-6
TEL 0799-23-1421 FAX 0799-23-1422

社会福祉法人 兵庫県社会福祉事業団

五色精光園

<http://www.hwc.or.jp/seikouen/>

●成人寮●

〒656-1322
兵庫県洲本市五色町広石北847
TEL 0799-35-0231 FAX 0799-35-0844
メール seikouen@athena.ocn.ne.jp

●児童寮●

〒656-1337
兵庫県洲本市五色町下塚1062-3
TEL 0799-35-0326 FAX 0799-35-0725
メール jidouryo@theia.ocn.ne.jp

●かがやき事業所●

〒656-1331
兵庫県洲本市五色町都志大日707
TEL 0799-33-1192 FAX 0799-33-1191
メール kagayaki@sand.ocn.ne.jp

●コスモス事業所●

〒656-0042
兵庫県洲本市池内1248-6
TEL 0799-23-1421 FAX 0799-23-1422
メール cosmos-sumoto@solid.ocn.ne.jp

●あゆみの部屋事業所●

〒656-1317
兵庫県洲本市五色町鮎原小山田510-7
TEL 0799-32-0400 FAX 0799-32-0410
メール ayuminoheya@canvas.ocn.ne.jp